

三農振第 29 号の 1
令和 3 年 4 月 19 日

三木市農業委員会

会長 鷲 尾 信 彦 様

三木市長 仲 田 一 彦



「農地利用最適化推進施策に関する意見書」に対する回答

三木市の農業振興にご理解を賜り、また、農地利用の最適化の推進にご尽力いただいておりますことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

将来を見据えた「新しい農業のかたち」に取り組むための農業者アンケートも速報値が出せる状況になってきつつあります。

アンケートでは、ご指摘のとおり三木市の農業を取り巻く環境は厳しいものとなってきています。農業の形態は第 2 種兼業農家が大半を占め、従事者は定年を迎えた 60 歳代の方が中心で、10 年先まで現状を維持するとしつつも、農家の皆様が将来への不安を抱えておられることがわかってきています。

このような状況を踏まえ、三木市では今年度から農業振興課に山田錦振興係を新設しました。従前からの農業政策に関しては農業政策係が引継ぎ、山田錦振興係は三木市の特産である山田錦の振興に加えて、将来を見据えた「新しい農業のかたち」の推進に取り組みます。2 係は、これからの三木市の農業のあり方について研究し、農家の皆様に情報提供し、ともに三木市の農業について考えていきたいと考えています。

ご提案頂いた貴重なご意見を参考に、農業者の皆様はもちろんのこと、農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様、両農業協同組合とともに、10 年 20 年先も三木市の農地が守られ、農業が継承されるような農業政策を立案し、推進してまいりますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。